



令和2年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和2年2月10日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 稷志
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 秋葉 真奈美 TEL 042-558-5111
 四半期報告書提出予定日 令和2年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第3四半期の業績（平成31年4月1日～令和元年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第3四半期	964	△6.9	107	△40.2	110	△39.4	76	△42.8
31年3月期第3四半期	1,036	16.4	179	233.1	182	228.4	133	257.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第3四半期	19.02	—
31年3月期第3四半期	33.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第3四半期	3,669	2,473	67.4
31年3月期	3,730	2,412	64.7

(参考) 自己資本 2年3月期第3四半期 2,473百万円 31年3月期 2,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	—	—	7.00	7.00
2年3月期	—	—	—	—	—
2年3月期（予想）	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和2年3月期の業績予想（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,565	△5.1	175	△6.7	175	△7.8	121	△10.4	30.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期3Q	4,032,000株	31年3月期	4,032,000株
② 期末自己株式数	2年3月期3Q	29,466株	31年3月期	29,465株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期3Q	4,002,534株	31年3月期3Q	4,002,661株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかし、米中貿易摩擦の長期化に加え、10月の消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減と自然災害が景気の減速要因となりました。

製造業においては、人手不足を背景とした合理化・省力化に対する設備投資が増加基調で、当社でも製造工程の効率化を目的とした作業の見直しと共に、設備投資を進めてまいりました。

このような環境の下、当社の主力である火工品事業では、民間向け火工品の売上増加や化成品である硝酸ヒドラジン系業務の新規受注などがあったものの、訓練用火工品等に対する防衛予算抑制の影響は続き、防衛省向け製品の受注は大きく減少し、売上高は前期と比べ減少いたしました。

損益面では、各製品の工程改善による原価低減は一定の成果を上げているものの、設備投資及び従業員の処遇改善に加え事業拡大に向けた人材投資の影響により、前期と比べ減益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は964百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益107百万円(同40.2%減)、経常利益110百万円(同39.4%減)、四半期純利益76百万円(同42.8%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 火工品事業

火工品事業におきましては、売上高は838百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は45百万円(同62.2%減)となりました。

② 賃貸事業

賃貸事業におきましては、売上高は126百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は90百万円(同3.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は3,669百万円(前事業年度末比60百万円減)、負債合計1,195百万円(同122百万円減)、純資産合計2,473百万円(同61百万円増)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の業績予想につきましては、前回発表(令和元年5月10日「平成31年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	960,457	786,715
受取手形及び売掛金	312,007	188,954
商品及び製品	38,323	36,297
仕掛品	147,716	294,530
原材料及び貯蔵品	226,646	252,966
その他	10,765	25,121
流動資産合計	1,695,915	1,584,585
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	274,397	283,368
土地	1,310,334	1,311,037
その他(純額)	161,717	160,271
有形固定資産合計	1,746,449	1,754,678
無形固定資産	7,464	28,808
投資その他の資産	280,523	301,282
固定資産合計	2,034,437	2,084,768
資産合計	3,730,353	3,669,353
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,423	61,695
短期借入金	611,004	611,004
未払法人税等	36,655	3,540
賞与引当金	38,861	21,985
その他	155,986	89,989
流動負債合計	941,931	788,214
固定負債		
長期借入金	180,569	172,316
退職給付引当金	49,849	52,283
役員退職慰労引当金	59,256	66,024
製品保証引当金	1,482	1,410
資産除去債務	9,292	9,434
その他	75,816	105,705
固定負債合計	376,265	407,173
負債合計	1,318,196	1,195,388

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和元年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,051,003	2,099,107
自己株式	△14,689	△14,690
株主資本合計	2,256,035	2,304,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	156,120	169,826
評価・換算差額等合計	156,120	169,826
純資産合計	2,412,156	2,473,965
負債純資産合計	3,730,353	3,669,353

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)
売上高	1,036,537	964,715
売上原価	632,462	627,840
売上総利益	404,074	336,875
販売費及び一般管理費	224,951	229,691
営業利益	179,122	107,183
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5,513	6,054
雑収入	1,341	1,063
営業外収益合計	6,854	7,118
営業外費用		
支払利息	2,999	3,148
雑損失	301	435
営業外費用合計	3,301	3,583
経常利益	182,675	110,717
特別利益		
固定資産売却益	18	—
役員退職慰労引当金戻入額	9,984	—
保険差益	—	171
特別利益合計	10,003	171
特別損失		
固定資産除却損	81	269
特別損失合計	81	269
税引前四半期純利益	192,597	110,619
法人税、住民税及び事業税	44,827	29,956
法人税等調整額	14,601	4,541
法人税等合計	59,428	34,498
四半期純利益	133,169	76,121

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。